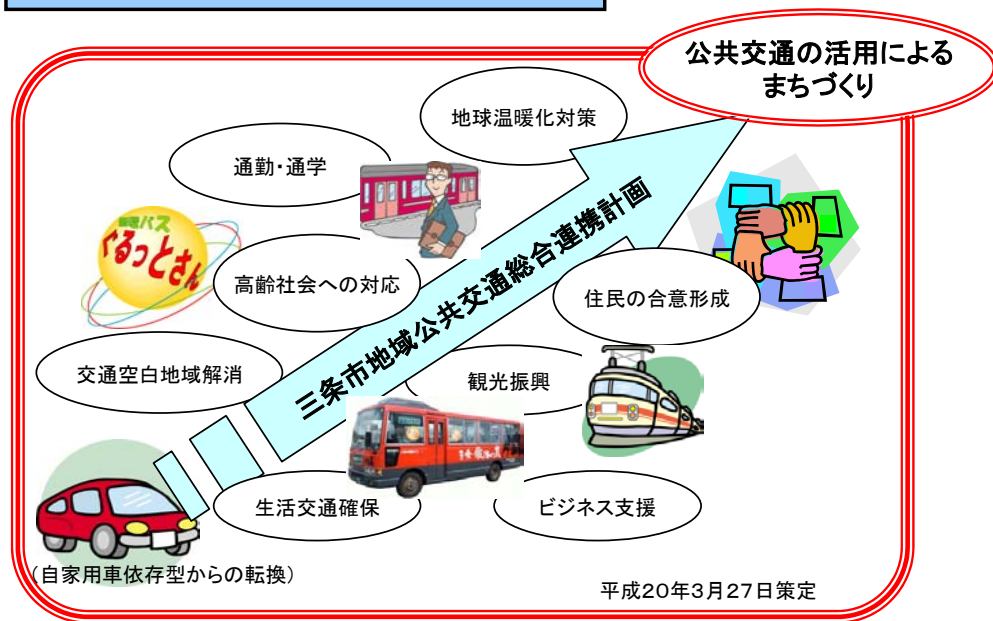


3-1 三条市における地域公共交通活性化・再生総合事業

三条市地域公共交通総合連携計画



三条市地域公共交通協議会

三条市、越後交通(株)、新潟交通観光バス(株)、JR東日本(株)新潟支社、新潟県バス協会、三条市タクシー協会、道路管理者(国・県・市)、三条警察署、市民、学識経験者、北陸信越運輸局、新潟運輸支局、新潟県、燕市、三条観光協会、下田郷観光協会、三条商工会議所、栄商工会、下田商工会、連合新潟

【事務局】三条市環境課内 0256-34-5511内線255

12の重点施策

総合連携計画における各種施策の中から、以下を重点施策とし、活性化・再生総合事業として実施する。

- 1 燕市吉田方面へのバス路線連携強化
- 2 パーク&ライドの整備
- 3 観光客対応バスの運行
- 4 商業施設との連携
- 5 高齢者(通院・買い物等)への対応
- 6 学生(通学)への対応
- 7 下田地区通学専用バスの運行
- 8 循環バスの運行形態の見直し
- 9 公共交通に関するPR
- 10 モビリティマネジメントの実施
- 11 公共交通を支える住民組織への支援
- 12 地域住民が主体となるバス運行

H20年度の活性化・再生事業は

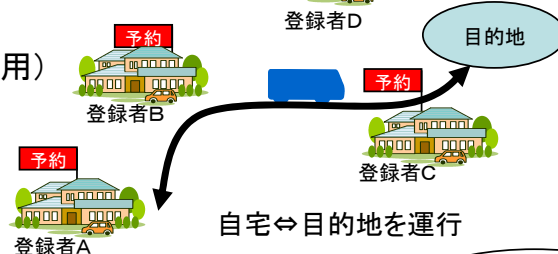
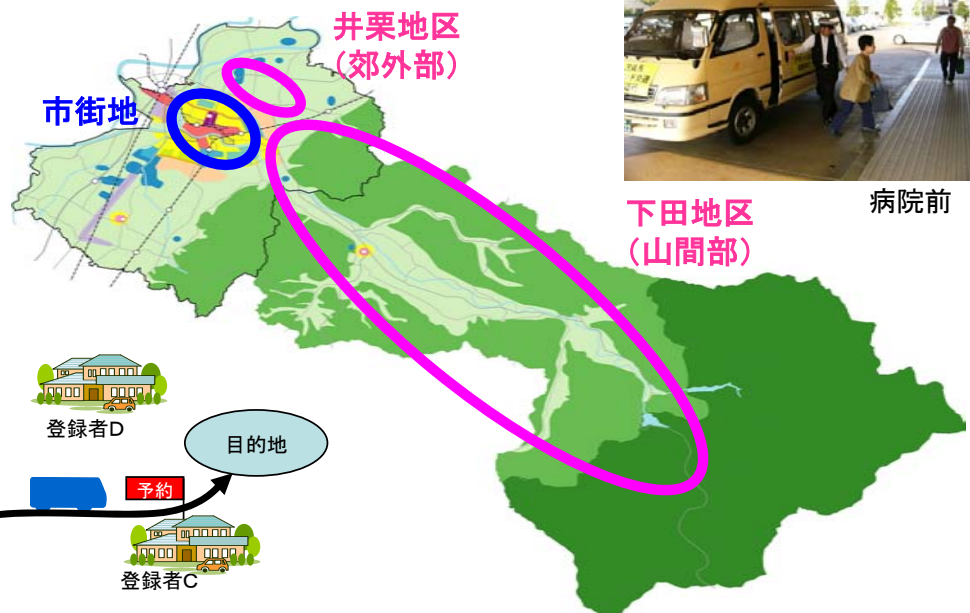
- 1) 下田地区デマンド交通導入社会実験
- 2) 井栗地区コミュニティバス導入社会実験
- 3) 高校生ライナーバス導入社会実験
- 4) 公共交通シンポジウム
- 5) 社会実験検証業務

20年度事業の実施状況

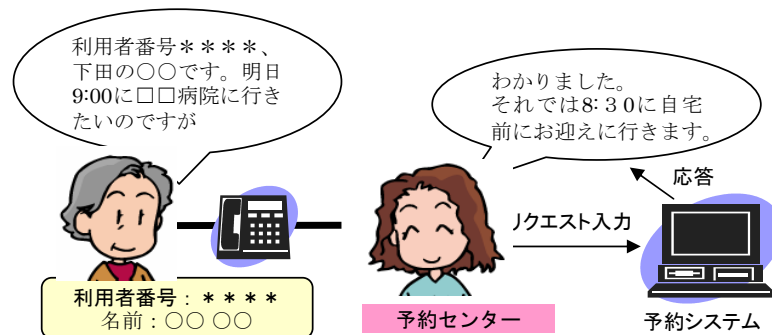
- 1) 下田地区デマンド交通導入社会実験
- 2) 井栗地区コミュニティバス導入社会実験

概要

- 実施地区：下田地区・井栗地区
- 運行方法：デマンド方式（予約乗合い）
- 実施期間：H20/10/14～H21/3/31
- 運行主体：市内タクシー事業者
- 車両：ジャンボタクシー5台
（下田地区と井栗地区で共用）
- 運行時間：7:00～19:00



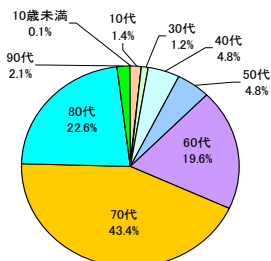
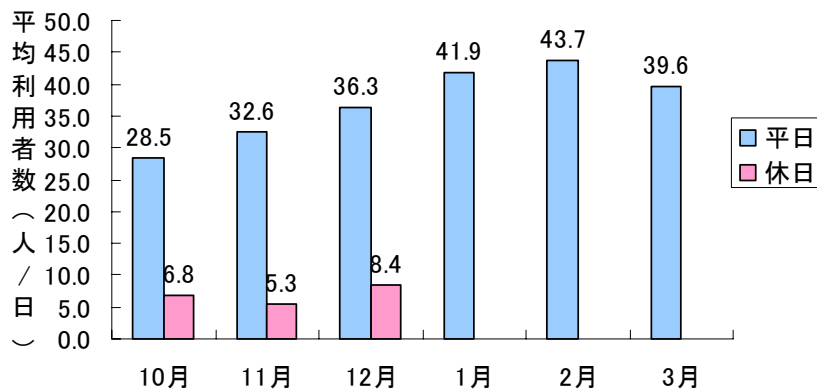
- 運行日：H20/10/14～12/31 毎日運行
H21/1/5～3/31 平日運行、土・日・祝運休
- 目的地：病院、駅、商業施設、温泉施設、公共施設
- 利用料金（大人）：
（下田地区）
自宅⇄下田地区内の目的地：200円
自宅⇄市街地の目的地：500円
（井栗地区）
自宅⇄市街地の目的地：200円



- 【利用方法】
- ・利用者は事前登録が必要
 - ・電話による予約申し込み
 - ・前日予約制（1週間前から予約可能）

利用状況

【下田地区】



利用者年齢層

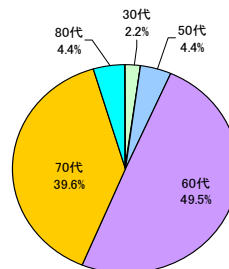
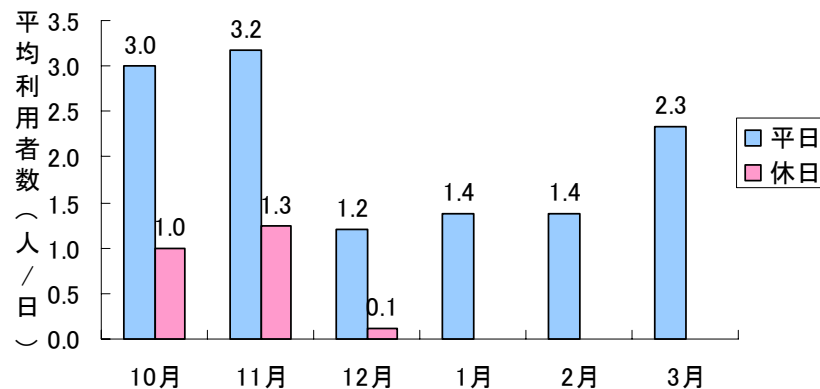
* 利用者登録数: 1,203人

* のべ利用者数: 4,320人

* 主な利用先件数 (自宅行きは除く)

- 1位 いい湯らてい 477件(22.4%)
- 2位 三条病院 430件(20.2%)
- 3位 渡辺医院 303件(14.3%)
- 4位 東三条駅 216件(10.2%)
- 5位 富永草野病院 179件(8.4%)

【井栗地区】



利用者年齢層

* 利用者登録数: 245人

* のべ利用者数: 249人

* 主な利用先件数 (自宅行きは除く)

- 1位 三条病院 78件(48.4%)
- 2位 東三条駅 44件(27.3%)
- 3位 市役所 21件(13.0%)
- 4位 ジャスコ 17件(10.6%)

社会実験の効果

- デマンドの特徴でもある利用者のニーズに応じた運行であり、現在も徐々に利用者が増加している。
- 特に利用の多い下田地区の市街地への通院は乗り換えが無くなったことにより、高齢者の利便性が向上した。
- また、地域のデマンド交通として必要な目的地を把握しつつあり(利用・要望の多寡等)、今後の本格導入に向けた運行方法の設定につなげることができる。

今後の課題

- 自宅送迎、低料金という最大のサービスで運行しており、利用者からの好評は得ているが行政負担が大きい。今後、デマンド交通を継続的に維持(本格導入)するには、自治会単位での乗り場設定や予約システム改善による乗合率の向上と、運行時間・料金・車両台数(大きさ)の見直しなどによる運行経費削減など、更なる効率化策を実施しての検証が必要である。

3) 高校生通学ライナーバス導入社会実験

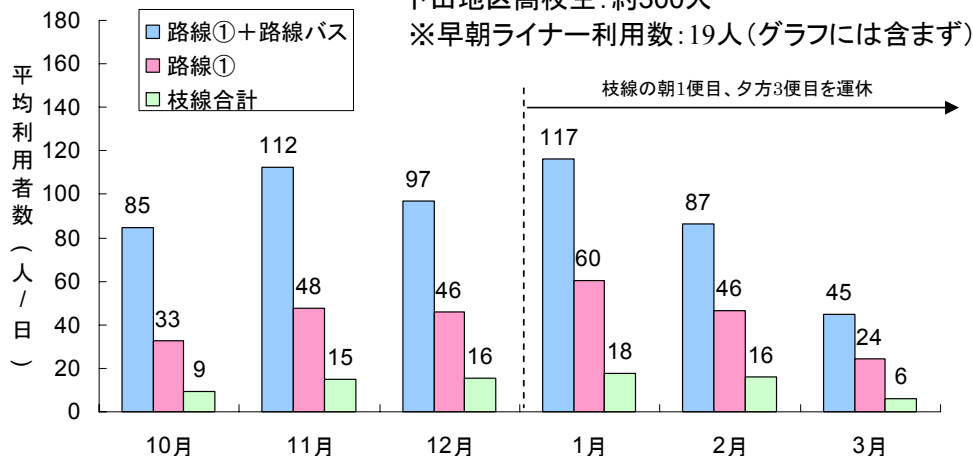
概要

- 実施地区: 下田地区⇔市内高校
- 運行方法: 定時定路線
- 実施期間: H20/10/14~H21/3/31
- 運行主体: 越後交通(株)
市内タクシー事業者
- 車両:
 - 路線① 大型バス
 - 路線②,③,④ 中型バス
 - 路線⑤,⑥ ジャンボタクシー
 - 早朝ライナー ジャンボタクシー
- 運行本数(各路線):
 - 通学便 6~8時台 2本
 - 帰宅便 17~19時台 3本
 - 早朝ライナー(事前登録) 早朝1本
 - 八木ヶ鼻温泉→市内4高校直通
- 利用料金(高校生):
 - 路線①: 200円
 - 路線②~⑥: 100円
 - 早朝ライナー: 200円
- 運行日: 平日運行
(土・日・祝日・冬,春休み運休)



乗り継ぎ拠点(長沢駅跡)

利用状況



今後の課題

- 下田地区の高校生のみでなく、市内のJR駅で他地域からの高校生をバス利用者に取り込むなど収入確保策が必要。
- 基幹路線と高校直通ライナーの運行が重なる時間帯があり、利用者が分散する（1便に集約しない）傾向がある。基幹路線と高校直通ライナーの役割を明確化するとともに、効果的な利用者の更なる集約化が必要。

20年度事業の事業費等

（単位：千円）

- 総事業費 52,355
- 運賃収入 2,439
- 地域負担 24,958
三条市負担金 24,958
- 総合事業費補助金 24,958

社会実験の効果

- 社会実験前は、枝線エリアにも定時定路線バスが運行していたが、社会実験路線として基幹路線との接続時間を見直し、高校への直通手法をとったことにより、高校生の通学利便性が向上され、バスの利用者増加につながってきている。
- 早朝ライナーについては、市内高校生へのアンケート、地元との協議結果により実施したが利用者数は少なかった。結果として、下田地区高校生の通学実態の把握につながり、必要とする運行時間帯の明確化につながった。（早朝ライナーは1月から運休）

21・22年度の事業予定

【H21年度】

- 1) 下田地区デマンド交通導入社会実験事業
- 2) 高校生ライナーバス導入社会実験事業
- 3) 循環バスの見直し運行社会実験事業

- 4) 公共交通啓発事業
- 5) 社会実験検証事業

【H22年度】

- 1) 三条市公共交通総合評価事業
- 2) 公共交通啓発事業